

平成29年度
伊達地域まちづくり活性化事業
業務委託実績報告書

自：平成29年4月 1日

至：平成30年3月31日

一般社団法人まちづくり伊達

平成29年度 一般社団法人まちづくり伊達事業報告

1 事業概要

一般社団法人まちづくり伊達は、「伊達地域まちづくり活性化事業」の業務委託を伊達市から受け、少子高齢化社会に対応するために、地域の資源を活用した新たなまちづくり事業を展開するため、官民連携のまちづくりを基本に、伊達長岡地区の賑わい創出と地域全体の再生活活性化を支援する事業を行った。

平成29年3月1日に一般社団法人として設立し、事務所を伊達市役所伊達総合支所に置き活動を開始したが、天王通り商店街の空き店舗であった現在の事務所に平成29年5月15日に移転し、商店街と協力して各種事業を行うことで伊達地域中心地域の賑わい創出の一翼を担っている。

2 理事会等の開催

(1) 理事会

- | | |
|--------|------------------------------|
| 第1回理事会 | 平成29年 5月15日 開催 |
| 議案第1号 | 当社団の主たる事務所の移転について |
| 議案第2号 | ネットワーク伊達に加入することについて |
| 議案第3号 | 賛助会員の募集について |
| 議案第4号 | 商店街イベント事業について |
| 報告第1号 | 重要事項及び業務報告について |
| 報告第2号 | 事務所移転に伴う改修工事概要について |
| 第2回理事会 | 平成29年 5月31日 開催 |
| 議案第5号 | 平成28年度事業報告の承認について |
| 議案第6号 | 平成28年度収支決算報告の承認について |
| 議案第7号 | 平成29年度入会金及び会費について |
| 議案第8号 | 平成29年度通常総会の日時及び場所並びに付議案件について |
| 議案第9号 | まちづくり伊達の事務所開所式について |
| 議案第10号 | 仮称「おすそ分け市場」事業の着手及び募集について |
| 報告第3号 | 重要事項及び業務報告について |
| 第3回理事会 | 平成29年10月27日 開催 |
| 議案第11号 | 定年再雇用規程の制定について |
| 議案第12号 | 職員の再雇用について |
| 報告第4号 | 重要事項及び業務報告について |

- ・事業進捗状況及び新年度事業計画(案)
- ・高齢者が車に依存しないまちづくり事業（記者会見資料）
- ・監査報告資料

第4回理事会 平成30年 3月29日 開催

議案第13号 平成30年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

報告第5号 重要事項及び業務報告について

- (2) 会員総会 平成29年 6月 8日 開催
- (3) 定期監査 平成29年10月27日 開催
- 決算監査 平成30年 5月18日 開催

3 業務の状況

(1) 官民連携まちなか活性化ワークショップ運営業務

地域住民や商店街を始めとした関係団体とワークショップを開催し、まちなかを活性化するための方策や事業等を検討し具体策を実施する。

①天王通り商店街マップ事業

天王通り商店街は、中央商店会に加入している店舗と加入していない店舗が混在している。

天王通り商店街として事業を行うにあたり、店舗紹介が必要であったため31店舗の紹介を標記した地図を作成し配布した。

市民からは、「このようなものが欲しかった。」などの反響があり、各商店からも好評であった。

②商店街の感謝市事業への支援

- ・感謝市事業への支援及び共催事業の実施

中央商店会が毎月15日に行っている「感謝市」事業に併せて社団も協賛事業を開催した。（こいのぼりぬり絵展、フリーマーケットへの参加等）

③天王通り商店街納涼盆踊り事業

- ・中央商店会・長岡山車保存会・まちづくり伊達の共催事業

恒例であった中央商店街での盆踊りが中断していたので、関係団体と協議し賑わい創出の一つとして4年ぶりに実施した。

8月12日（金）18:00～車両交通規制、19:00から盆踊り（～20:30）

人出は 300 人以上。露店や、飲食関係の協力を得て実施した。

④伊達町マルシェ実行委員会との連携（既存事業支援）

- ・伊達マルシェの支援（9/15 夜マルシェ）

参加者：約 400 人強

事業運営の支援／事務所の活用（イベントのゴール地点とし、抽選会の会場及び休憩所として提供した。）

- ・伊達マルシェの支援（10/9 昼マルシェ）

小学生・一般の体力測定／手作りマルシェ／飲食コーナー

事業運営の支援／事務所の活用（イベント事業実施場所として提供した。）

※両事業とも市内外から多くの参加者を集め、街中は賑わった。

- ・イルミネーション事業の共催（12月22日～翌年2月末日）

イルミネーションの魅力を増すことを目的に事務所壁面へのイルミネーションを設置し実行委員会事業を盛り上げ、年末年始をはじめとして街中の賑わいを増した。

イルミネーション設置・撤去への協力

⑤天王祭実行委員会支援事業

天王祭の伝統をPRするためのパンフレット制作事業を支援した。これは伊達市教育委員会発行の「伊達市のむかしむかし」著者すずき大和の「長岡の天王おけ」の昔話をパンフ化した。

⑥フリーマーケット開催の準備、運営協力（既存事業支援）

5月28日（日）・11月5日（日）開催・・・伊達町中央商店会主催

フリーマーケットへ天王市として参加し霊山振興公社の「イノシシ皮細工」等の販売やおすそ分け市場として野菜の販売をした。

また、事務所をイベント来場者及び関係者の休憩場所として提供した。

⑦中央商店会初売り事業支援

恒例事業であったが中断していた中央商店会の「初売り事業」を3年ぶりに実施した。

年末年始の商店街の賑わいを出すため、商店会や商店街に面した事業者と話し合い天王通り商店街の事業と位置付けして行った。

⑧ひな祭り事業

3月の「ひな祭り」に合わせ、商店街への人出増加を目指し新しく企画した。

中央商店会及び商店街の商店に参加を募り 13 店が参加し、ひな祭り商品を準備し買い物客には桃の花と桜餅を配付した。

- ・「ひな祭り期間」・・・ 3/2～3/3
- ・事務所には、雛人形や吊るし雛を展示したため、多くの市民が訪れた。

⑨商店会加入店以外の店舗 PR 事業

伊達町中央商店会は、毎月 15 日を「感謝市」として、新聞折込みチラシで PR を行っている。しかし、商店会に加入していない天王通り商店街の商店は PR を行っていないことから、中央商店会の厚意によりチラシの裏面に広告記事を掲載する事業を行った。

参加店を募り、8 店舗の PR 記事を掲載した。評判は上々で、今後も実施してほしいとの要望があった。

⑩天王市（手作りマルシェ）の実施

アクセサリー、手編みのかごや手作りパンを作っている方に参加いただく「天王市」を新たに企画し 3 月 15 日（木）に実施した。

商店会の感謝市に合わせて、まちづくり伊達の事務所を会場として、8 名、2 団体が参加した。

⑪自主収入確保のための事業

当団体自立を目指し自主収入を確保するため、各種イベント等において委託販売等を行った。

近隣家庭菜園での新鮮野菜を販売する目的で、「おすそ分け市場」と称し商店会の店舗での販売を試みた。出荷する方への呼びかけや販売表示方法等の課題が残った。

また、天王祭礼に際し、すずき大和さんの原画を利用した天王 T シャツ及び天王桶を題材としたバッグを制作し販売した。

(2) 官民連携まちなか再生社会実験事業

まちなかの賑わいを創出するため、公共用地や空き店舗を活用した様々な事業の検討を行い、地域住民が楽しみ、会話し、休憩し回遊できる商店街とするための「場」を社会実験として設置する。

①中心市街地に拠点施設の設置

平成29年5月15日、天王通り商店街の空き店舗を社会実験の場として利用するため賃借し、市民が活用できる拠点としての場を設置した。

ア 施設の整備等について

2・3年、空き店舗であったことや細長い形状であることなどから、事務所として活用するためトイレの改修や畳替え等最小限度の改修を行った。

しかし、屋外の店舗看板の改修については、多額の費用がかかることから施設使用方針が定まる30年3月まで改修を猶予していた。

イ 開所時間について

当初、8時30分～17時30分とし、土・日曜日は閉所とした。

7月からは、商店街の開店時間や閉店時間との調整を図り、職員の勤務シフト制で8時30分～19時、土曜日9時～19時、閉所は日曜日とした。

その後、利用状況を見ながら9月から現在の9時15分～18時15分、月曜日から土曜日まで開所、日曜・祝祭日を閉所としている。

ウ 多目的に利用できる空間としての取り組み

情報がある所、話がある所を目指し、話ができるよう机、テーブル、ソファ等を設置した。

また、コーヒーやお茶等も準備し、趣味での利用、休憩での利用、団体のイベント利用など、住民の皆さんが安心して利用できるような場所づくりを心掛けた。

情報拠点としてフリーワイファイも設置し、簡単に情報収集が出来る住民共通のまちなかの居場所づくりを目指した。

伊達市立図書館からの伊達文庫などの図書や卓球台等も設置した。

エ 施設の利用状況について

まちの駅として無料休憩所を標榜しながら周知してきたが、当初は利用が
少ない状況が続いた。

各種事業、イベント参加により徐々に利用される方が増えている。特に地
域の町内会や老人会、福祉会などに利用いただいている。

②まちの駅の認定について

社会実験の効果を一層高めることを目的に「まちの駅」の認定を受けて6
月8日に開所式を行った。市政だよりや各種イベント案内などの行政資料も
揃えている。

また、伊達市の「まちの駅ネットワーク伊達」に加入し、駅なかプラザな
どと情報交換し事業連携している。

③公的事業への協力

伊達市の各種の事業等への協力及び伊達市商工会のプレミアム商品券の
販売所としてまちなかの利便性を活かして販売協力した。

また、伊達市スポーツ振興公社のチャレンジディの受付所となった。

④地域資源のシンボル設定のための事業

(天王祭・盆踊り等でTシャツ等の販売)

ア 昔からの言い伝え

かつて天王祭／天王市で販売され、人気を博していた「天王桶」。親孝行な
子どもが、天王様のお告げで八雲神社の湧水を置けに汲み、流行病に苦しむ
母親に飲ませたところたちどころに回復し、その湧水を「金明水」「銀明水」
と呼び、近隣の多くの村人が桶を持って泉の水を汲みに来るようになった。
その後、天王祭の生糸市と共に無病息災にご利益があるお土産品として天王
祭の祭礼期間中は近隣のみならず遠方からも多くの人がこの天王桶を買い
求めるため集まるようになった。

この「天王様」と「天王桶」、「生糸」を地域振興のシンボルとして位置付
けるため、そのデザインを活かし「Tシャツ」「バッグ」を作成した。

・販売や各種イベントの景品として提供することで、歴史を背景とした賑わ
いのシンボルとなるよう事業を展開した。

⑤まちなか再生のためのPT事業（プロジェクト事業）

地域住民が楽しみ、会話し、休憩し、回遊できる地域とするために社団内

にプロジェクトを組織し検討している。

ア 天王通り“カフェ”プロジェクト

市民との交流や来訪者から、ちょっとお茶してお菓子があれば等の要望が多く寄せられたことや若い子育て中のお母さんの方々からも要望が多かったことから、社団の理事やカフェ経験者、建設事業者等によりプロジェクトを結成し、事業化に向けて検討した。

その後、まちなか再生のための基本構想やアクションプラン策定のために結成された「まちづくり会議」に併せ、講師等の指導を受けながら具体的な場所、運営組織、運営手法等について検討している。

イ 伊達地区に高齢者住宅を！検討会

伊達市からの調査要請を受け、伊達地域での民間主導型高齢者住宅建設の方向性を探るため、地域内の建設事業者や不動産事業者、当社団理事等で組織し検討会を4回開催している。

まだ結論には至っていないが、高齢社会対応のため、また、空き店舗や空き家解消に向けて伊達らしい高齢者住宅の検討・建設に向けている。

⑥委託販売事業の実施

商店街で取り扱っていない品物や起業支援の一助、また、市振興公社等の製品等の委託販売をしている。

ア 手作りパンの委託販売

天王通り商店街に欲しい店舗として「パン」「カフェ」という意見があり、地元で材料にこだわりをもって、食パンや菓子パン等を製造販売している方と協議し、将来の起業を見据えながら、食パン等を実験的に土曜日等に委託販売している。

イ 伊達市農林業振興公社制作のイノシシ革製品の委託販売

伊達市農林業振興公社で制作しているイノシシ革製品「ino DATE」のアクセサリーやキーホルダーを委託販売している。

⑦街・だての発行

「まちなかの駅 まちづくり伊達」の事業内容を広く市民へ周知するために「街・

だて」として情報発信している。

方法は、商店街の感謝市チラシの裏面やイベント周知チラシ等活用して発信している。

事業情報が足りないとの市民からの苦情も多いことから、フェイスブック等を研究中である。

⑧ まちなか再生のための先進地視察

少子高齢社会の中で同じような悩みを持ちながら克服し、まちなかの賑わい創出や地元産品の開発による施設運営している先進地を視察研修した。

ア まちなかカフェの視察研修

まちづくり会議の委員を中心に新潟県三条市「ステージえんがわ」や「TREE」を視察研修した。

検討中のカフェ等の拠点施設について、同様のコンセプトで実際に設置運営している施設として、経過、運営方法、課題等について担当からの説明を受けた。

イ 地元産品の開発による施設運営

国道399号沿いの活性化と地元産品の六次化開発に取り組んでいる伊達東地区協議会の地域振興分科会を中心に「農産物の直売所及び休憩施設並びに6次化産業に関する視察研修」について支援した。

視察先は、宮城県大崎市岩出山町「あ・ら・伊達な道の駅」の直売所と6次化産業については、「よっちゃん農場」を研修した。

(3) 官民連携まちなか再生推進事業

市が策定した「伊達地域 まちづくり基本計画」に基づき、まちなか再生のための基本構想やアクションプランを策定する。

① 計画策定をワークヴィジョンズに委託

計画策定に当たっては、佐賀県でのわいわいコンテナ事業等で市街地活性化事業を多く手掛け、福島県内でも成功事例がある㈱ワークヴィジョンズに委託

した。

懸案であった天王通り周辺、熱田、八雲両神社の歴史的なエリア等を考慮し官民連携とエリアマネジメント的な考えで策定した。

○まちづくり会議で協議

①キックオフレクチャーの開催…8/25（金）18：30 開催

講師：ワークヴィジョンズ 西村氏 約30名参加

②第1回だてまちづくり会議の開催…9/12（火）

③第2回だてまちづくり会議の開催…10/12（木）

④第3回だてまちづくり会議の開催…11/24（金）

⑤第4回だてまちづくり会議の開催…12/12（火）

⑥第5回だてまちづくり会議の開催…2/6（火）

※伊達まちづくり構想2018(案)の提案と検討

⑦第6回だてまちづくり会議の開催…3/23（金）

※伊達まちづくり構想2018(案)の修正について検討・確認

②伊達まちづくり構想2018の推進

伊達まちづくり会議で、それまで協議してきた内容を取りまとめた上で、「伊達まちづくり構想2018(案)」の提案を受けた。

まちづくり会議でさらに検証を加え反映することとした。さらに、地域の賑わいの拠点となる「ママのマ」の具体的な運営・組織等に関する提案を受け、委託事業の成果品として認定することとした。

ア 旧伊達公民館跡地の活用

伊達公民館は、震災後に解体し空き地となっている。天王通り商店街と歴史的価値もある八雲神社等を含めたエリアでの活用が検討された。

仕事をしながら、お母さんと子どもたちが一緒に過ごせる、mふらっと立ち

寄りたくなる、みんなのたまりの場のような場所として仮称「ママのマ」の施設と原っぱとすることが検討された。

また、県道と当該地を結ぶ空き地についても「ママのマ」と「天王広場」をつなぐパティオの役割を持たせることが検討された。

イ 信用金庫伊達支店とイベント広場を含むエリアの活用

熱田・八雲神社、旧福島電鉄の分岐点という歴史的にも賑わったエリアを「天王広場」として位置付け、市民が天王通り周辺を回遊し、市民がわくわくする場所とすることが検討された。

ウ 官民連携による事業推進

これらの開発事業、運営事業は、行政に全てに頼ることなく行政や市民、社団が2人3脚で官民連携を色濃く出して進めることが必要となる。

このためには、社団が伊達市から「都市再生推進法人」の認定を受けることが必要なことから、伊達市と更なる協議が必要となる。